

- 〔主催〕 廃棄物資源循環学会、プラスチックリサイクル化学研究会
 〔日時〕 2015年10月2日(金)9:50~18:10 (受付開始9:00)
 〔会場〕 日本大学工学部駿河台校舎1号館2階121会議室(東京都千代田区駿河台1-8-14)
 〔交通〕 JR御茶ノ水駅、聖橋口改札出口より徒歩3分
 〔定員〕 100名(事前申込み制)
 〔参加申込み〕 学会ホームページ(<http://jsmcwm.or.jp/>)から申込みください。
 参加費 10,000円(会員)、15,000円(非会員)、3,000円(学生)(支払は当日、学会名で領収書を発行)



黒藪氏



高田氏



熊野氏



辻井氏

9:50~10:00 開会の挨拶

プラスチックリサイクル化学研究会 会長 加茂 徹(産総研)

第1部 概要

座長 安田 肇(産総研)

10:00~10:45 「動静脈一体型産業構造の構築と情報連鎖」

黒藪 誠(課長補佐、経済産業省)

第2部 情報技術を用いた資源循環(その1)

10:45~11:30 「リサイクルにおけるIoTの可能性」

木通 秀樹(シニアスペシャリスト、日本総研)

11:30~12:15 「新造品と再生品を区別しない循環マネジメント」

高田 祥三(教授、早稲田大学)

12:15~13:15 食事休憩

第3部 既存システムからの展望

座長 加茂 徹(産総研)

13:15~14:00 「自動車中古パーツ用データベースの運用事例」

堀場 桂子(システム開発グループ長、株式会社JARA
(日本自動車リサイクラーズ・アライアンス))

14:00~14:45 「量・質・時の不確実情報を確実にする資源循環情報」

熊野 英介(代表取締役、アマタホールディングス株式会社)

14:45~14:55 休憩

第4部 情報技術を用いた資源循環(その2) 座長 行本 正雄(中部大学)

14:55~15:40 「ソーシャル・ビッグデータ駆動の政策決定支援システム」

曾根原 登(研究主幹・教授、国立情報学研究所;
教授、総合研究大学院大学)

15:40~16:25 「人工知能を用いた資源循環の可能性」

辻井 潤一(人工知能研究センター長、産総研)

第5部 総合討論

座長 加茂 徹(産総研)

16:30~18:00 パネルディスカッション

パネラーは上記講演者

18:00~18:10 閉会の挨拶

廃棄物資源循環学会 リサイクルシステム部会長 行本 正雄

18:20~20:20 意見交換会



木通氏



堀場氏



曾根原氏